

パパ・ママ支援に
困ったら。

ヒント集

ハツと気づける 支援者が

令和版

発行（問い合わせ先）
泉区福祉保健センター 子ども家庭支援課
☎045-800-2465

1 子育て家庭に やさしいまちに するには？

ヒント 1 地域の人の子育ての 悩みを理解する

子育て世代の現状や悩みを地域の人理解していれば、子どもを見る目も優しく変わってくるのではないのでしょうか。まずは子育ての現状が変化していることを地域の人に伝えてみましょう。

「泉区子育てに関するアンケート調査※1」リーフレットを活用すると◎。

※1 令和3年発行泉区子育てアンケート結果報告
泉区ホームページでダウンロード可



ヒント 2 地域の人たちが声を 掛け合う環境をつくる

泉区の子育て家庭は「住んで5年以内」という家庭が約半数※2です。若い人たちには町内会や地域行事などの情報も少なく、知り合うきっかけを持てずにいる家庭が多いです。※2

※2 令和元年度調査泉区子育てに関するアンケート

地域の人声



泣いている子どもと困っている母がいたら、「大丈夫？」と声をかけます。他の人が話しかけることで、子どもや母の気持ちの切り替えにつながることもあります。



2～3歳の子が歩いているなら、「がんばれ～」と応援したり、遊んでいる子には「上手に遊べたね」と声をかけます。

ヒント
3

地域で多世代交流の 機会をつくる

核家族化が進み、高齢者や子どもと一緒に住んでいる家庭は少なくなってきています。高齢者が集う場と子どもが集う場を隣にしたり、一緒に開催すると自然に多世代の交流ができます。

1. 地域の人「公園愛護会の活動」と子ども が集まる「公園外遊び」をコラボ企画する

多世代の交流の機会になりますし、普段公園を使っている親子から地域の人へ感謝の気持ちを伝える機会にもなります。

2. 親子サークルの活動と高齢者サロンの交流

親子サークルで作った折り紙などの作品を持って高齢者サロンの会場を訪ねてください。孫世代からおばあちゃん、おじいちゃんへのプレゼントを手渡しなど、かわいいお子さんとの交流でお年寄りも元気がもらえるのでは。

パパ・ママがうれしい 地域の人からの声掛けのヒント

「地域の人に声をかけてもらったことがありますか」というアンケートで「ある」と答えた人は全体の89%※3。また、「近所の人について関心がある」と答えたママは63%※2です。声をかけてほしいパパ・ママはいったいどんな声掛けがうれしいのでしょうか。実際の声を集めてみました※3。

※2 令和元年度調査泉区子育てに関するアンケート

※3 令和3年度調査泉区子育てに関するアンケート

スーパーなどお店でのエピソード

スーパーの帰りに駐輪場で娘が「自転車に乗らない、帰らない」と大泣きして、私が泣きたいと思っていたら、『大丈夫よ。ママ、みんなこういうの経験してるから』と声をかけてくれました。

近所の人にかけてもらって嬉しかったことば

子どもが泣いていたなら『子どもは泣くのが仕事だからね!』と言ってもらえたら嬉しい。『お母さん頑張っているね』など励ましの言葉や頑張るとかプラスな事を言ってくれたらうれしいです。



子育てに関する考え方や価値観は家庭によってさまざまです。まずはパパ・ママの気持ちを尊重してあげましょう。

ヒント
4

パパが地域にデビューする きっかけをつくる

地域の支援の場はたくさんありますが、パパには少しハードルが高いのが現状です。まずは、最近のパパ事情を知り地域でどんなことができるか話題にしてみたいかがでしょうか。

1. 現代のパパのすがた

パパの役割には育児・家事以外にもママの話に耳を傾けたり子どもの安全を守るという大事な役割があります。パパの現状を理解する上でいろいろな人がいるという「多様性」を受け入れることが必要です。

支援者からの声



以前よりも幼稚園・保育園の入園説明会等に両親で来られる方やパパ1人で見学に来る人、パパが保育園の送迎を担っている事も増えています。

パパは子育ての現場では、周囲としゃべらずに1対1で子どもに真剣に向き合っている姿をよく見かけます。



2. パパへの声掛けのヒント

直接パパと話せる機会に子どもの素敵な所を伝えたり、パパはママに比べて地域とのつながりが少ない方が多いので、気軽に挨拶からはじめてみては。

3. パパ向けの講座

パパも初めての子どもとどう遊んだらよいか不安です。パパが参加しやすい企画を考えてみるのはいかがでしょうか。

例

パパと一緒に水遊び、パパと親子クッキング

POINT

- テーマがはっきりしている
- 楽しく参加できる
- ハードルが低め
- パパもできそうと思ってもらう



パパ支援を考えるには、まだまだリサーチが必要！みんなで考えていくため、パパの声を拾っていきましょう！



子育て応援マークを 身に付けて 子育てを応援しよう

「子育て応援マーク」を知っていますか？「子育てを応援したい地域の人」と「子育てを見守ってほしい子育て家庭」がマークを身に付け双方が出会うことで、声を掛け合い、地域のつながりを増やす効果を期待しています。



←詳しくはこちらから